

所 属	文化振興課
所属長	曾田 研之介
電 話	06-6489-6385

若手アーティストの更なる活躍を応援します！
A-LAB Exhibition Vol.34 「A-Lab Artist Gate NEXT STEP」を開催

1 趣旨

尼崎市は、本市が運営するアートスペース「A-LAB」（えーらぼ）において、「A-Lab Artist Gate NEXT STEP」を開催します。「A-LAB」で毎年開催している新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-Lab Artist Gate」は大学、専門学校を卒業、あるいは大学院を修了した若手アーティストによるグループ展として開催しています。

本展覧会では、過去に「A-Lab Artist Gate」に出展いただいた若手アーティストがその後、どのようにステップを上がっているかを追いかけて紹介することで、これからの活躍を応援します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、別紙1のとおり対策を行います。

2 概要

会 期：令和4年8月20日(土)～9月25日(日)

会 場：A-LAB（尼崎市西長洲町2-33-1）

入場料：無料

時 間：(平日) 午前11時～午後7時

(土・日・祝) 午前10時～午後6時

※休館日：火曜日

出展者：吾郷佳奈、稲垣美侑、木原結花、大東真也

問合せ：文化振興課（平日のみ午前8時45分～午後5時30分）

電話 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

主 催：尼崎市

協 力：(株)ベイ・コミュニケーションズ

3 作家略歴

別紙2参照（A-LABのホームページにも掲載しています。）

4 次回展情報

「目で目は見えぬけれども」

会 期：令和4年10月15日(土)～12月11日(日)

出展者：加納俊輔、堀川すなお、吉野もも

以 上

A-LAB における新型コロナウイルス感染症拡大防止策

【来場者へのお願い】

来場者へのお願いとして以下の内容を掲示します。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒をお願いします。
- ・咳・咽頭痛などの症状や 37.5 度以上の熱がある方、帰国後自宅待機期間内の方の入場はご遠慮ください。
- ・エレベーターの使用は移動に制約のある方のみ使用していただくようお願いいたします。
- ・場内では間隔を広げてご鑑賞ください。
- ・鑑賞中に大きな声での会話はご遠慮ください。
- ・基本的に作品にはお手を触れないでください。
- ・検温機による体温の確認のご協力をお願いいたします。また、一定値以上の発熱がある場合は入場をお断りする場合があります。
- ・スタッフはマスクを着用して対応させていただきます。
- ・基本的に荷物のお預かりができません。大きなお荷物はスタッフにご相談ください。

【接触・飛沫感染防止対策】

(入口)

- 1 入口に消毒液を設置します。

(受付)

- 2 場内では間隔を広げてご覧いただくようお声掛けするとともに、フロアマーカを設置します。
- 3 受付に飛沫感染防止のためシールドを設置します。
- 4 検温機を設置して来場者の体温を確認します。

(ロビー等)

- 5 アンケート記入に使用した鉛筆はお持ち帰りいただきます。

(展示室)

- 6 展示室内は常時換気していますが、可能な限り展示室のドアや窓を開けて換気を行います。展示上、ドア、窓を開ける事ができない部屋は 30 分に一回程度、展示室の換気を行います。

(その他)

- 7 手すり、ドアノブ、エレベーターのボタン、テーブルなどを適宜殺菌消毒します。
- 8 トイレの洗面に使い捨てペーパーを設置します。

【スタッフの健康管理】

- 1 毎日スタッフの検温を行います。
- 2 スタッフはマスクを着用し、手洗い・手指の消毒を徹底して実施します。

以 上

A-Lab Artist Gate NEXT STEP 出展アーティスト

吾郷 佳奈 Ago Kana



1993 年生まれ。島根県出雲市出身。現在、京都在住。
 2016 年京都市立芸術大学美術学部油画専攻卒業。2018 年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了。
 主な展覧会に、VOU/棒 7th Anniversary ARTISTS' FLEA VOU KYOTO 2022 (VOU/棒, 京都, 2022)、個展「をちこちのここのとこ」(同時代ギャラリー, 京都, 2021)、こえる、境界線 (no-mu / studio 10 m², 京都, 2020)、個展「エンドレス」(同時代ギャラリー, 京都, 2020)、吾郷佳奈・山田千尋「おひろめ」(Powder plant, 京都, 2019)。

アクリル板、鏡、油彩、布など、様々な素材や技法を用いて「自画像の方法」を探っています。自他の境界をなぞり重ねることで、不明瞭なわたしの輪郭線が、臃げながらも見えてくることに期待しながら作っています。

稲垣 美侑 Inagaki Miyuki



1989 年神奈川県生まれ。2014 年東京藝術大学美術学部絵画科油画卒業。15 年-16 年ナント美術大学 (フランス) に留学、21 年 3 月に東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程を修了。近年の主な展示に、「草むらの音素」(個展 / Plum Gallery, 経堂 / 2022 年)、「息をする spirare」(個展 / Gallery Gigi, 江の島 / 2022 年)、「ぐぜり Subsong」(個展 / Clear Gallery Tokyo, 六本木 / 2021 年)、

「HOLBEINARTFAIR2021」(渋谷スクランブルスクエア, 渋谷 / 2021 年)、「自然とともに生きる海女とアーティスト 昔と今。」(鳥羽市立海の博物館, 石鏡町 / 2021 年)、「The Noisy Garden, The White Crypt うるさい庭、白い地下室」(Art TraceGallery, 両国 / 2020 年)、「パラランドスケープ “風景” をめぐる想像力の現在」(三重県立美術館 / 2019 年) など。

木原 結花 Kihara Yuika



1995年大阪府生まれ。2019年大阪芸術大学大学院芸術研究科博士課程前期修了。

主な展覧会に、「あざみ野フォト・アニュアル とどまってみえるもの」(横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川、2021)

「Belfast Photo Festival」(イギリス、北アイルランド、2019)、「写真的曖昧」(金沢アートグミ、石川、2018)、「A-Lab Artist Gate 2017」(あまらぶアートラボ、兵庫、2017) 第15回写真「1_WALL」ファイナリスト(2016)。

大東 真也 Daito Masaya



1995年4月6日滋賀生まれ

2018年4月京都精華大学大学院博士前期課程芸術研究科立体領域卒業

主にガラス製の既製品に熱を加え変形させた作品を発表しており、何十本ものガラス瓶が溶け合わさった塊のような作品と、ガラス瓶の首の伸びた作品に大別出来ます。

熱を加え重力に従って変形させる様を提示する作品や、大量のガラス製品を自作の窯のような装置で溶かすパフォーマンス作品、空間へアプローチをしたインスタレーション作品なども制作しています。

主な個展 必然的な事だが偶然的な運命(KUNST ARZT・京都2018)、2022年5月大東真也

個展 創造と喪失の輪廻. Reincarnation of creation and loss(KUNST ARZT・京都)

主な受賞歴 平成30年度滋賀県次世代文化賞受賞、第71回滋賀県展・芸術文化祭賞(大賞)、Kyoto Art for Tomorrow 2022 一京都府新鋭選抜展一・産経新聞社賞



Lab Artist Gate A-Lab Artist

NEXT STEP

A-Lab Artist Gate



A-Lab Artist Gate A-Lab Ar



尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」で毎年開催している新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-Lab Artist Gate」。大学、専門学校を卒業、あるいは大学院を修了した若手アーティストによるグループ展として開催しています。

本展覧会では、過去に「A-Lab Artist Gate」に出展いただいた若手アーティストがその後、どのようにステップを上がっているかを追いかけて、紹介することで、これからの活躍を応援します。



- ① 吾郷佳奈 《reselfie3 (部分)》2021
- ② 稲垣美侑 《Summer bushes》2021
- ③ 木原結花 《コンクリートブロック》2022
- ④ 大東真也 《魂の行方》2020

吾郷 佳奈 Ago Kana

2016年 出展



1993年生まれ。島根県出雲市出身。現在、京都在住。2016年京都市立芸術大学美術学部油画専攻卒業。2018年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了。主な展覧会に、VOU/ 棒7th Anniversary ARTISTS' FLEA VOU KYOTO 2022 (VOU/ 棒, 京都, 2022)、個展「をちこちのここ」とこ (同時代ギャラリー, 京都, 2021)、こえる、境界線 (no-mu / studio 10 m, 京都, 2020)、個展「エンドレス」(同時代ギャラリー, 京都, 2020)、吾郷佳奈・山田千尋「おひろめ」(Powder plant, 京都, 2019)。



吾郷佳奈 《reselfie3》2021



吾郷佳奈 《our contour》2021

稲垣 美侑 Inagaki Miyuki

2017年 出展



1989年、神奈川県生まれ。2014年東京藝術大学美術学部絵画科油画卒業。15年-16年ナント美術大学(フランス)に留学、21年3月に東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程を修了。近年の主な展示に、「草むらの音素」(個展/ Plum Gallery, 経営/ 2022年)、「息をする spirare」(個展/ Gallery Gigi, 江ノ島/2022年)、「ぐぜり Subsong」(個展/ Clear Gallery Tokyo, 六本木 /2021年)、「HOLBEIN ARTFAIR 2021」(渋谷スクランブルスクエア, 渋谷/2021年)、「自然とともに生きる海女とアーティスト 昔と今。」(鳥羽市立海の博物館, 石鏡町 /2021年)、「The Noisy Garden, The White Crypt うるさい庭、白い地下室」(Art Trace Gallery, 両国 /2020年)、「バラランドスケープ "風景" をめぐる想像力の現在」(三重県立美術館 /2019年)など。



稲垣美侑 《View from the bright window -02》2021



稲垣美侑 《Touch of the Garden-01》2021

木原 結花 Kihara Yuika

2017年 出展



1995年大阪府生まれ。2019年大阪芸術大学大学院芸術研究科博士課程前期修了。主な展覧会に、「あざみ野フォト・アニュアル とどまってみるもの」(横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川、2021)「Belfast Photo Festival」(イギリス、北アイルランド、2019)、「写真的曖昧」(金沢アートグミ、石川、2018)、「A-Lab Artist Gate 2017」(あまらぶアートラボ、兵庫、2017)。第15回写真「1_WALL」ファイナリスト(2016)。



木原結花 《椅子》2022



木原結花 《コンクリートブロック》2022

大東 真也 Daito Masaya

2020年 出展



1995年滋賀県生まれ。2018年京都精華大学大学院博士前期課程芸術研究科立体領域卒業。主な個展 必然的な事だが偶然的な運命 (KUNST ARZT・京都、2018)、大東真也 個展 創造と喪失の輪廻・Reincarnation of creation and loss (KUNST ARZT・京都、2022) 主な受賞歴 平成30年度滋賀県次世代文化賞受賞、第71回滋賀県展・芸術文化祭賞(大賞)、Kyoto Art for Tomorrow 2022 一京都府新鋭選抜展一・産経新聞社賞



大東真也 《Accumulation of memory》2019



大東真也 《海のかたち》2017



住所:
尼崎市西長洲2-33-1
会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先:
市役所文化振興課 06-6489-6385
A-LAB Tel./Fax. 06-7163-7108

① @amalove.a.lab
www.ama-a-lab.com



Sponsor/Partners: Baycom

開館時間:
平日 午前11時-午後7時
土日祝 午前10時-午後6時

休館日: 火曜日

A-LABでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に取り組んでいます。ご来場の際、マスクの着用や手指の消毒など、皆様のご協力をお願いいたします。取り組んでいる拡大防止策についてはA-LABのホームページなどでご覧いただけます。

